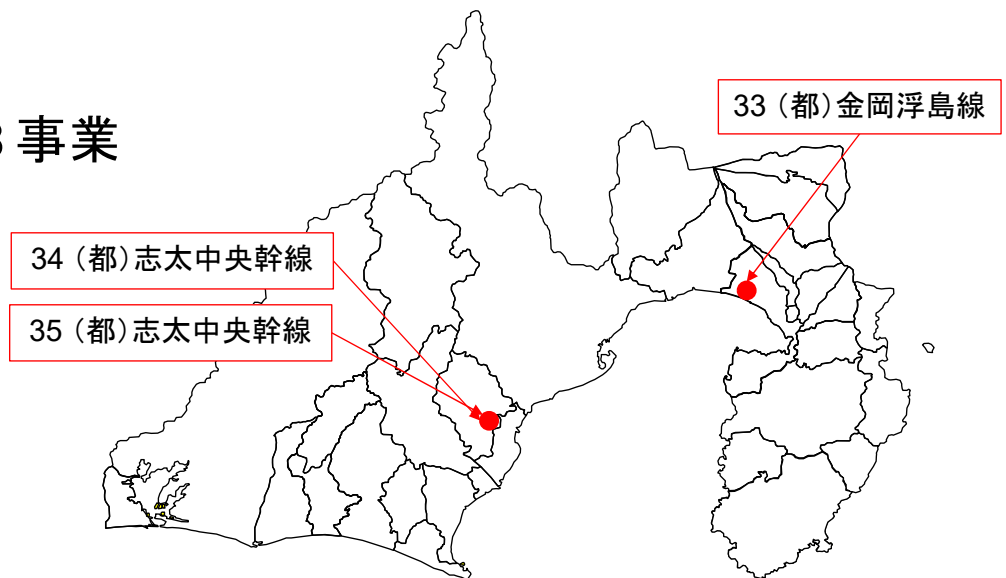


番号	35	令和8年度公共事業再評価調査					担当課名	街路整備課																										
事業名	街路整備事業					事業主体	静岡県																											
ふりがな	としけいかくどうろ しだちゅうおうかんせん おおて・こおりこうく					関係市町	藤枝市																											
箇所名	都市計画道路 志太中央幹線(大手・郡工区)																																	
事業採択年度	令和4年度			計画期間	令和4年度～令和10年度																													
用地着手年度	令和5年度			工事着手年度	未着手																													
再評価理由※	事業採択(R4)後5年経過																																	
全体事業費	百万円 2,177	投資状況 (百万円)	～R6年度 195	R7年度 117	R8年度見込 438	計 750																												
事業概要	(1)事業目的 本路線は、国道1号バイパス藪田西ICから藤枝市を南北に縦走し、焼津市を經由して一級河川大井川に架かるはばたき橋を渡り東名吉田ICに連絡する県道に接続する主要幹線道路である。 本事業区間に並走する県道大富藤枝線は、道路幅員が狭隘で歩道が無い区間があり、朝夕には慢性的な交通渋滞を引き起こしている。 本事業は、県道大富藤枝線のバイパスとして整備し、交通の円滑化および歩行者・自転車通行の安全確保を図るものである。 (2)事業内容 施工延長：252 m 道路幅員：27 m 道路工：252 m 車線数：4 車線																																	
【視点1】	(1)事業を巡る社会経済情勢等の変化 ・国道1号藤枝バイパスの広幅IC～藪田東IC間(延長1.5km)が令和8年度に4車線化されることから、藤枝や島田地域の物流の効率化が期待される。 ・本路線東側の水守地区では、土地区画整理事業(平成4年度～平成25年度)により宅地が整備され、水守地区の人口が事業着手前に比べて令和6年度末時点で61%増加した。 ・本路線南西に位置するJR藤枝駅前地区において、藤枝市が策定した藤枝駅前地区市街地総合再生基本計画(H31.3)に基づき、市街地再開発事業が進められている。 (2)事業の投資効果 ○費用便益分析結果(令和8年度時点) <table><tr><td>B/C(i=4%)</td><td>参考:B/C(i=2%)</td><td>参考:B/C(i=1%)</td><td>EIRR</td></tr><tr><td>3.5</td><td>5.5</td><td>7.3</td><td>13.5%</td></tr></table> ・総便益(B) 66.9億円(走行時間便益:40.36億円、走行経費便益:26.55億円、事故便益:0.00億円) ・総費用(C) 19.2億円(建設費:19.53億円、維持管理費:0.44億円、用地残存価値:0.11億円) ○見込まれる効果(定性的な効果) ・交通の円滑化 ・歩行者や自転車の安全確保 ・インターチェンジへのアクセスの向上 (3)事業の進捗状況(令和8年度見込み) <table><tr><td>区分</td><td>進捗率</td><td colspan="2">内 訳</td></tr><tr><td>事業費</td><td>34.5%</td><td colspan="2">(750百万円 / 2,177百万円)</td></tr><tr><td rowspan="2">事業量</td><td>道路工</td><td>0.0%</td><td>(0 m / 252 m)</td></tr><tr><td></td><td></td><td>(m / m)</td></tr><tr><td>用地取得</td><td>58.2%</td><td colspan="2">(3,838 m² / 6,598 m²)</td></tr></table> 評価 継続が妥当							B/C(i=4%)	参考:B/C(i=2%)	参考:B/C(i=1%)	EIRR	3.5	5.5	7.3	13.5%	区分	進捗率	内 訳		事業費	34.5%	(750百万円 / 2,177百万円)		事業量	道路工	0.0%	(0 m / 252 m)			(m / m)	用地取得	58.2%	(3,838 m ² / 6,598 m ²)	
B/C(i=4%)	参考:B/C(i=2%)	参考:B/C(i=1%)	EIRR																															
3.5	5.5	7.3	13.5%																															
区分	進捗率	内 訳																																
事業費	34.5%	(750百万円 / 2,177百万円)																																
事業量	道路工	0.0%	(0 m / 252 m)																															
			(m / m)																															
用地取得	58.2%	(3,838 m ² / 6,598 m ²)																																
【視点2】	今後の事業の進捗の見込み 現在、早期の事業完了に向けて地権者との交渉を重ねており、用地取得率は令和8年度末時点で58.2%となる見込みである。 整備に対する地域の期待も高いことから、早期の完成・供用を目指して、用地交渉を進めていく。 段階的に整備効果が図られるよう、一連の用地が確保できた箇所から順次、工事に着手していく。 評価 継続が妥当																																	
【視点3】	新たなコスト削減・代替案立案等の可能性 軟弱地盤対策には、地盤安定処理工を採用し、建設発生土を抑制することでコスト削減が期待できる。 地元説明では、3Dモデルを活用することで、事業の見える化を図った。																																	
対応方針(案)	(1)対応方針(案) 本事業を【継続】する。 (2)理由 本事業は新設バイパスにより、当該箇所の交通の円滑化、歩行者・自転車通行の安全確保を図るものである。 本路線は、投資効果が高く、県市の道路事業、街路事業が連携して整備を進めている。整備に対する地域の期待も高い上、地権者も協力的であり、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。																																	

令和8年度 公共事業再評価

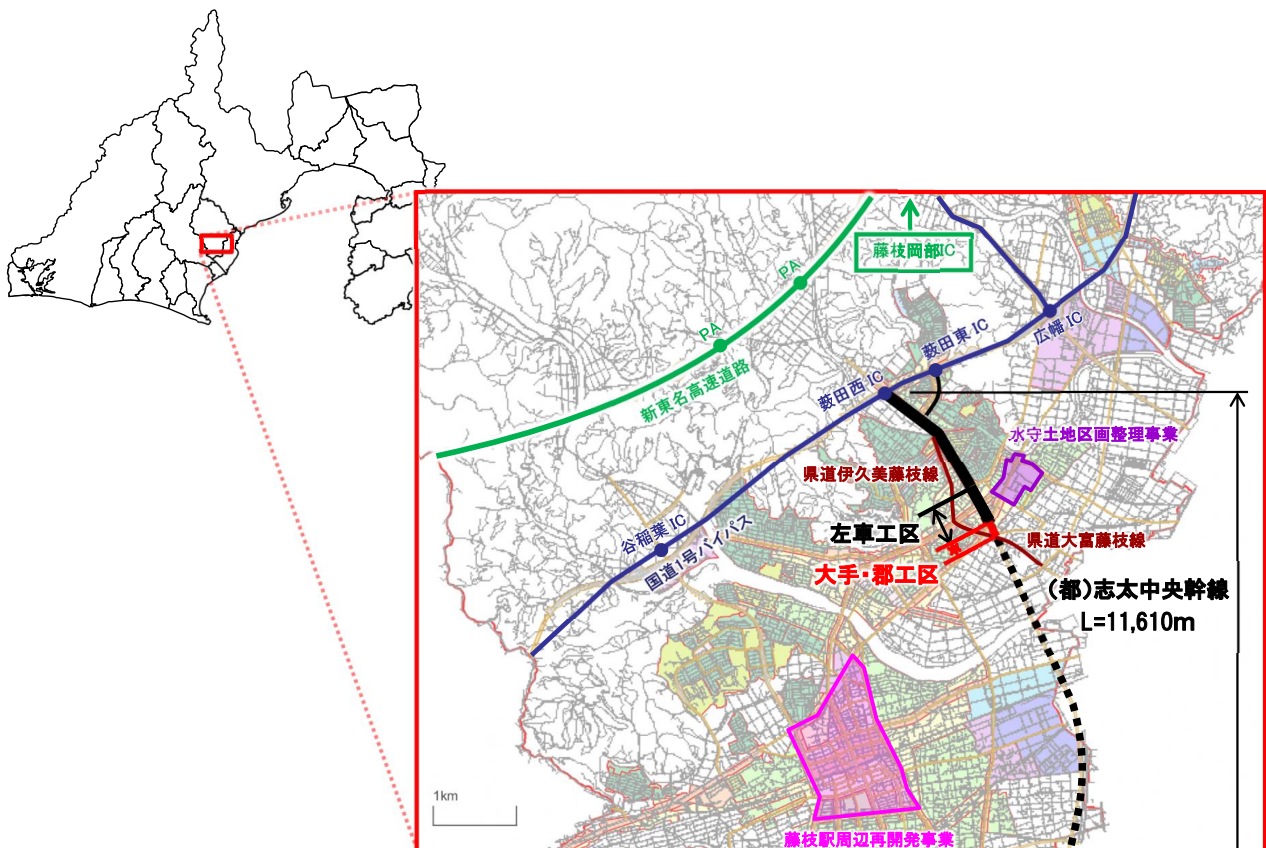
街路事業：3事業



番号	事業名	箇所名	代表事業
33	街路事業	都市計画道路 金岡浮島線（東原工区）	
34	街路事業	都市計画道路 志太中央幹線（左車工区）	
35	街路事業	都市計画道路 志太中央幹線（大手・郡工区）	

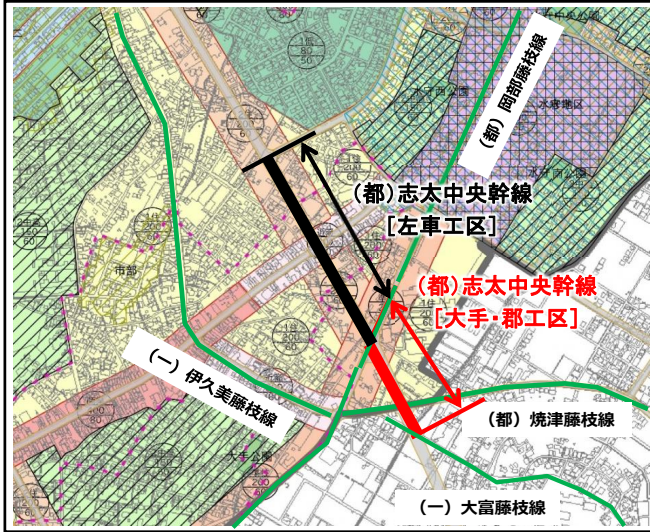
交通基盤部 都市局 街路整備課

1. 事業箇所位置図



2. 事業概要

詳細位置図



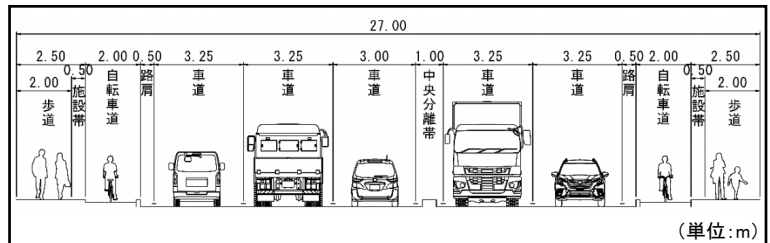
事業目的

- ・(一)大富藤枝線で慢性的な交通渋滞が発生しているため、本事業のバイパス整備により、**交通の円滑化**を図る。
- ・歩道及び自転車道の整備による、**歩行者、自転車通行の安全性確保**を図る。

事業内容

- ・計画期間：令和4年度～令和10年度
- ・事業区間：延長252m
- ・道路幅員：27m
- ・車線数：4車線
- ・事業費：2,177百万円

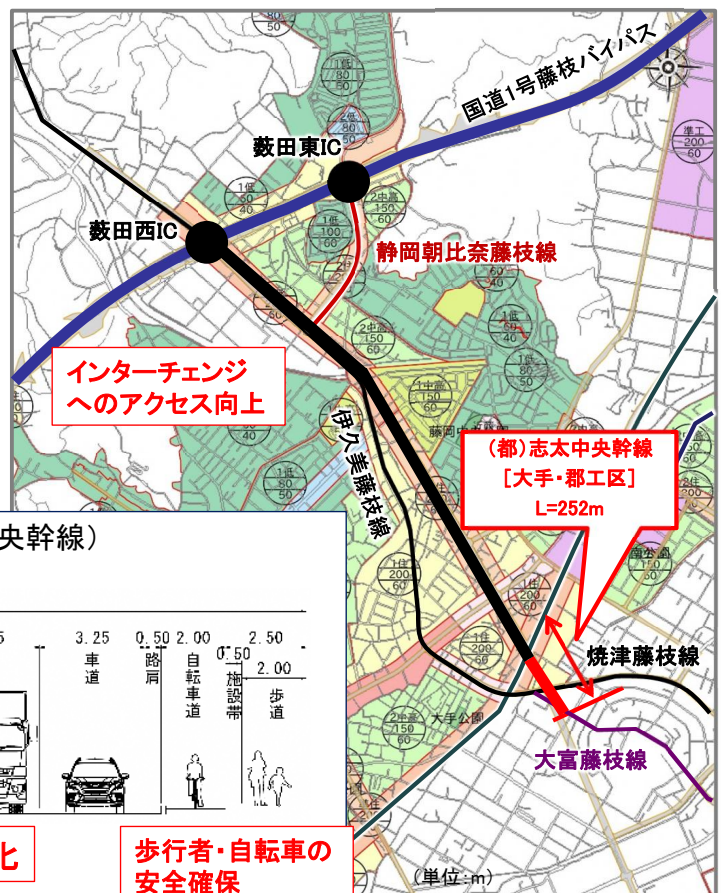
工事着手前



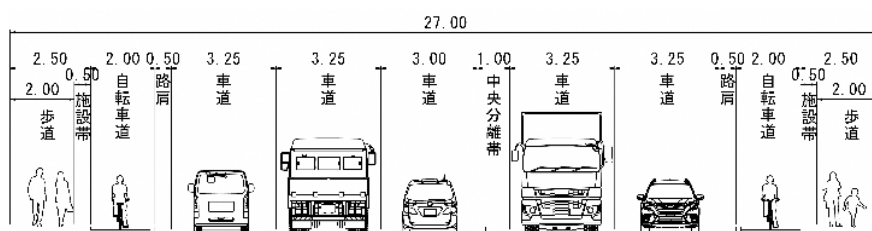
3. 事業の必要性（事業の効果）

○見込まれる効果 （定性的な効果）

- ・交通の円滑化
- ・歩行者や自転車の安全確保
- ・インターチェンジへのアクセスの向上



標準横断面図((都)志太中央幹線)



交通の円滑化

歩行者・自転車の安全確保

4. 前回からの変更点・理由

前回からの変更点・理由

区 分	※前回(R4)	今回(R8)	主な変更理由
①計画期間	R4～R10	変更無し	—
②全体事業費	2,177百万円	変更無し	—

※今回が初めての再評価のため、事業採択時評価の内容を記載

5. 今後の事業の進捗の見込み

●事業推進のための取組

地域住民に向け、積極的な事業の「見える化」を図るため、事業進捗状況の報告を目的とした広報誌『志太中通信』の配布や3Dモデルを活用した地元説明を行っている。



しだちゅうつしん 志太中通

第1号 令和6年6月

静岡市島崎土木事務所、藤枝市

都市計画道路志太中央幹線の道路整備を進めます。

目次から、静岡県及び藤枝市の状況に即応して調整した内容をご覧ください。前にもありたいと考えています。

この点、地域の皆様と志太中央幹線に関するお知らせする情報をお知らせしたいので、ご意見いただければ幸いです。当後は季節ごと（年2回程度）に発行していきたいと考えておりますので、どうぞよくご覧いただきたいです。



1 近況報告

令和5年3月に市野郎地区、先施地区を境り南浜通西回り幹線（旧国道1号）より志太中央幹線を開通したことを受け、その次の工区として大井・郡工區（静岡市施工）、立花・田中寺工區（藤枝市施工）の各工區の事業を開始いたしました。今年度も引き続き、大井・郡工區で歩道、自転車道を完成させ、また地味な地域で行われている方へ丁寧に説明・指導にあたりながら土地所有者の皆様へご理解いただけるようの用地交渉を進めており、立花・田中寺工區では引き続き用地交渉を進めています。並行して、志太中央幹線南端まで延伸、バス路線、交差点の完成、橋の検討をしてまいります。

また、地域の皆様に対する説明会の準備を進めております。

2 整備概要



赤い線は、
大井・郡工區
（静岡市施工）

緑色の線は、
立花・田中寺工區
（藤枝市施工）

都市計画道路 志太中央幹線

[都市計画決定] 昭和48年8月14日

[起点] 藤枝市上飯町

[終点] 津波平河川

[全長] 11,610m

大井・郡工區（静岡市施工）

大手～252m 幅員約8-25m

立花・田中寺工區（藤枝市施工）

立花～4997m 幅員約8-25m

><費用負担割合等>

佐々木 志田土木事務所 都市計画課
TEL: 0543-73-4111 FAX: 0543-73-5335
保土市 市建設部 総務室 企画課
TEL: 054-643-3169 FAX: 054-643-3280

皆さんが事業主体を付けて
お金の出流入りが増えれば
道路にゆとり！



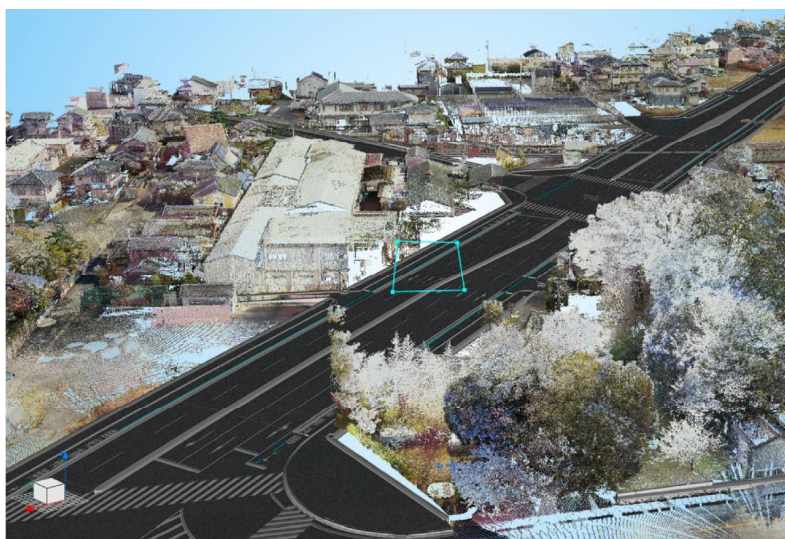


藤枝市
Fujieda City



**NPO
市民会館**

本冊面にお申し込みの申込用紙での請求であり、今後、随時その再確認により変更する場合があります。（※94年6月現在）



↑ 3Dモデル

← 志太中通信（出典：藤枝市HP）

6 . 対応方針（案）

本事業は、

- 新設バイパスにより、交通の円滑化、歩行者・自転車通行の安全確保を図る。
- 整備に対する地域の期待も高く、さらに事業の投資効果も見込まれる。
- 費用便益比は（B/C）は、3.5である。

以上から、事業効果が大きい。



事業を継続する